

昭和学報

昭和女子大学
〒164-8633 東京都世田谷区王子
1-1-1
編集長 野村 浩一
発行 尾形 真実

時代を感じる定点観測と思考の自分軸

人間社会学部長 志摩 園子

青空と清澄な空気に、心も軽やかになる季節がやってきた。一〇月上旬の珍しい初雪に驚いたのは、スウェーデンのストックホルムで仕事をしていた時だ。私の研究フィールドは、ロシア西側の周辺、そして、ヨーロッパの東の周縁にあたるラトヴィヤを含むバルト三国、いずれも、樺太より北に位置し、秋は急ぎ足で過ぎ去る。

この地を初めて訪れたのは冷戦末期のこと、一九八八年の九月中旬、時代の空気は、コートとシヨールを身に纏っても身に沁み通った。モスクワを経由しないで、留学先のドイツ(当時まだ西ドイツ)から訪れることは、研究フィールドの空気に触れ、現地を歩いてみたいという願いがようやくかなった感動の時でもなく、ドイツから直行で初めて仕立てられたチャーター・フライトと一緒に訪問したラトヴィヤ人、ドイツ人の思いは異質なものであった。彼らの感動は、故郷の親戚に何十年ぶりに会う、あるいは、子供時代に離れたこの地の思い出と墓参が可能になったことへの感慨であつたらう。ソ連軍機を窓の外に見ながらの着陸は、拍手と涙で溢れていた。残念なことに、この時は、厳しい監視の中、カメラを取り出すのもこわく、貴重となったはずの写真は撮れていない。ラトヴィヤは、当時、ソ連邦を構成するソヴィエト社会主義共和国だったのである。

翌一九八九年の夏の滞在時、ベルリンの壁の崩壊につながった東ヨーロッパでの動向は、ソ連の中のラトヴィヤには全く伝わってこなかった。不思議だと感じたことは、国立文書館への入館と史料の閲覧が思いもかけず認められたことである。外国人に対して、限定的とはいえ、モスクワ当局の許可なく、閲覧が認められることは、時代の苗車が大きく動き始めたことが体感できた瞬間であった。

以来、ラトヴィヤ通いは一九九一年を除いて続



1989年8月、ソ連時代のラトヴィヤにて
—ラトヴィヤ人・ロシア人夫婦の家庭に招かれて—

- 今月の昭和学報は
- (2) 活用しよう キャンパスメンバーズ
 - (3) クラブ・サークル前期活動報告
 - (4) 台北の留学フェアに初参加

いている。この年の八月に日本からラトヴィヤ行きの經由地ドイツで、リーガ行きのフライトの搭乗を断念したのである。ソ連で発生したクーデターのニュースに、ドイツでのアカデミック・アドバイザーや研究所の先生方から、「入国はできるだろうが、出国がきなくなる事態もある」とアドバイスを受けたからである。独立回復の宣言、そして、九月にはソ連による独立の承認、二月にはソ連の崩壊とそれに続く事態の急展開は思いもよらないものであった。独立の回復からすでに二〇年以上がたかり、街の様子や人々の暮らしは様変わりした。地方都市やエストニア、リトアニアの訪問も、かつての緊張から好奇心一杯のわくわくに変わった。その頃生まれた子供たちもそろそろ社会に成年齢になっている。今では、インターネットを通じて多くの情報を得ることができるようになった。それでも、現地の空気を吸い、自分の目で、自分の足で現地を捉えることは、自分の理解や思考の軸にとって重要な。二〇〇九年には、国際

国際文化研究所開設二〇周年記念 ベトナム視察旅行

国際文化研究所開設二〇周年を記念し視察旅行が行われ、平尾光司理事、坂東眞理子学長、横井千香子同窓会副会長等多くの関係者が参加した。メコン流域カイベイでは、向後千里研究員の食ワークショップ・友田吉紀と田村奈葉子らのフェンスコンテスト、奈良文化財研究所と田中いづみらの伝統家屋調査、服飾部門の伝統衣服調査、ホ

ベトナムの世界遺産の町ホイアン市は、町並み保存に協力した本学と深いつながりがある。そのホイアン市で八月二四日、坂東眞理子基金によるルイ・テ・ヴィン小学校新校舎開校式があり、ゼミ合宿でホイアンを訪れていた私たち歴史文化

学科の学生一一名も参加した。坂東学長やホイアン市長などの関係者は、小生たちに向けて教育の大切さを熱心に語りかけた。その後、私たちは児童と綱引きやクイズをするなど、言葉の壁をこえた交流をすることができた。毎年、ホイアンで考古学調査を行う菊池ゼミ所属の私たちがとって、今後より一層充実した活動にしていきたいとの思いを新たにしたい。小さな力であっても日本とホイアンをつなぐ架け橋となればと思う。

(歴史 尾形真実 田村優衣 松本麻奈美)

ベトナムの町並み保存に協力した本学と深いつながりがある。そのホイアン市で八月二四日、坂東眞理子基金によるルイ・テ・ヴィン小学校新校舎開校式があり、ゼミ合宿でホイアンを訪れていた私たち歴史文化

学科の学生一一名も参加した。坂東学長やホイアン市長などの関係者は、小生たちに向けて教育の大切さを熱心に語りかけた。その後、私たちは児童と綱引きやクイズをするなど、言葉の壁をこえた交流をすることができた。毎年、ホイアンで考古学調査を行う菊池ゼミ所属の私たちがとって、今後より一層充実した活動にしていきたいとの思いを新たにしたい。小さな力であっても日本とホイアンをつなぐ架け橋となればと思う。

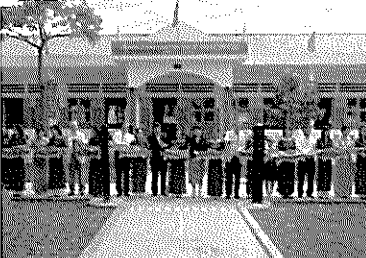
(歴史 尾形真実 田村優衣 松本麻奈美)

ベトナム・ホイアン市における新校舎開校式とシンポジウムに参加して

ベトナムの世界遺産の町ホイアン市は、町並み保存に協力した本学と深いつながりがある。そのホイアン市で八月二四日、坂東眞理子基金によるルイ・テ・ヴィン小学校新校舎開校式があり、ゼミ合宿でホイアンを訪れていた私たち歴史文化

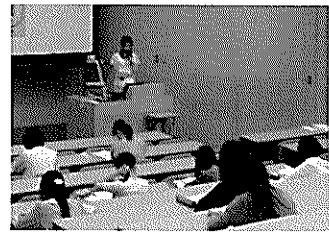


坂東学長はじめ関係者等と、お揃いのTシャツを着た学生たち



坂東眞理子基金から寄贈された新校舎の前で

★「愛されながら、いきいき働く人」 心を自由に 夢をどんどん広げて



六月二日(金)、本学卒業生の朝美(本名・福田麻美)氏をお招きして講演会を開催した。企業に秘書として勤務されていた頃の苦労話や、会社を起業するに至った経緯などについて話して下さった。「天職は英語でBusiness。つまり天が決められた仕事があったら」とも呼んでいるのです。とてもスピリチュアルな話に聞こえるが、さまざまに困難を乗り越え、紆余曲折がありながらも、現在のメイクアップアーティストという「天職」にたどり着いた朝美さんの言葉は力強い。これまで私は「どの企業が私に合っているのだろうか。もし

しかししたら、他にもっと自分に合った企業があるのではないかと迷っていたが、朝美さんの「人生トライアル&エラー」の言葉を受け、気持ちが悪くなった。「辛いことと嬉しいことは表裏一体、どちらもあるから人生に味が出る。無駄なことは何一つない。私の心が一番響いた朝美さんからのメッセージだ。」(英コミ友利捺紀)

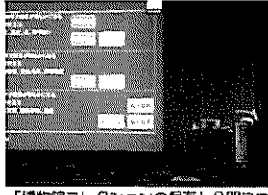
活用しよう！ 東京国立博物館 キャンパスメンバーズ

■「博物館セミナー」に参加して

得を目指す学生にとつては有益であった。

■「博物館学講座」に参加して

他大学の学生とともに実践的に学ぶ



「博物館コレクションの保存と公開について」の講義

博物館セミナーでは、博物館における運営、教育普及活動の現状や課題などについて、博物館の裏側ともいえる運営活動を中心に講義が行われた。現役の研究者による講義だけに、博物館を訪れただけでは分からない、見えない部分で行われる細かな活動を知ることができ、学芸員資格取得を目指す学生にとつては有益であった。

八月一三日から一日、東京国立博物館の「博物館学講座」に参加した。この講座は、学芸員課程の館務実習を兼ね、キャンパスメンバーズ事業提携校限定となっている。同館での実習という貴重な機会を得られ、すばらしい経験ができた。短い期間だったが、作品の正しい取り扱い方をはじめ、教育普及活動や、広報活動についての実習など、職員の方からの指導により、本だけではわからなかったことも学ぶことができた。

同館は教科書に載っているような国宝や重要文化財の、文字通り「宝庫」だ。数か月ごとに展示替えをする常設展は、見飽きることなく楽しめる。来年一月には東洋館がリニューアルし、さらに多くのアジア美術が見られるようになる。上野公園内には同館以外にも博物館や美術館が数多くある。一度足を運んでみてはいかがだろうか。

(歴史 杉山依見)

健康デザイン学科



健康デザイン学科は、栄養士としての知識をベースに、専門性をもった「健康のスペシャリスト」の育成を目指す学科だ。いくつかの授業と、4年間の学びの概略を紹介してみたい。

1年次では、「健康デザイン概論」のように、今後どのような学問領域とかかわり学びを深めていくのかなど、4年間の学びの概要を理解するための授業や、専門性を高めるためにも必要な基礎をしっかり学ぶ「化学A・B」や「微生物学」などがある。実験の授業では、使用する様々な器具についても実際に使いながら学んでいく。また、「基礎調理学および実習」では、調理の基本的な技能とともに、調理によっておいしく食べられるようになる食品の特性について学ぶ。実習では、調理するだけではなく、食材の調理に使用した量や廃棄した量を細かく計測したり、出来上がった料理の栄養計算も行う。

2年次では、後期に行う「給食実務論実習」に向けて「給食とは」という基礎的知識や給食施設について概要を学ぶ「給食管理論」や、日本料理だけでなく、中華料理・西洋料理の実習を行う「調理学実習」、食品そのものにも含まれる「毒(食中毒)」についても実習と関連付けながら学ぶ。実習では、家庭で使う何倍もの大きさの鍋や特殊な器具も使用する。たとえば「回転鍋」。この鍋の話をも別の学科の友人に話すと、かき回さなくてもよいように自動で「回転する鍋」を想像する人が多いのだが、できあがった料理を容器に移す際、移しやすいように斜めに傾く鍋をいう。こうした日常的には使わないような調理器具の使い方についても、実践的に学んでいく。

その他にも、栄養士として働く際に必要となってくる「行政」とのかかわりについては「食品衛生学」で、栄養士として正確な情報を適切な方法で指導するための方法は「栄養指導論総論」で学ぶなど、栄養士として必要な学習も進める。

卒業後は、栄養士のほか健康運動指導士や家庭科・理科・保健体育の教員をはじめ、多様な進路へ挑戦できることが健康デザイン学科の魅力である。(学報委員 三枝麻梨奈・森岡早紀)

先生の研究室訪問 細く、長く、じっくりと

歴史化学科 教授 武田 昭子 先生



若手黒戸邸浄法寺町での発掘の様子 後列左が武田先生 (2007年8月)

武田昭子先生の専門は、文化財の保存修復である。美術史や考古学だけでなく、化学などの理系分野とも深く関連しており、文化財を多角的に研究する学問だ。

先生は、大学で彫刻制作を学んだ後、美術と歴史の両方に興味を持っていたことから、大学院では仏像の修復を専攻された。当時は文化財学は確立されて間もない頃で、「先生の魂に触れ、昔の技術を手にとって理解できる」ことが魅力であったという。卒業後は奈良の私立の文化財研究所に勤め、甲冑や武器・木製品などを扱った。

現在の研究テーマである漆器に携わったのは、

それから一〇年近く経って、故郷山形の発掘現場で、大量に発掘された漆製品の保存処理を任せられたことがきっかけであった。この偶然の出来事から「ロマンを感じる」ラ イフワークと巡り合えたそう。

先生は、大学で彫刻制作を学んだ後、美術と歴史の両方に興味を持っていたことから、大学院では仏像の修復を専攻された。当時は文化財学は確立されて間もない頃で、「先生の魂に触れ、昔の技術を手にとって理解できる」ことが魅力であったという。卒業後は奈良の私立の文化財研究所に勤め、甲冑や武器・木製品などを扱った。

現在、先生は、大学で彫刻制作を学んだ後、美術と歴史の両方に興味を持っていたことから、大学院では仏像の修復を専攻された。当時は文化財学は確立されて間もない頃で、「先生の魂に触れ、昔の技術を手にとって理解できる」ことが魅力であったという。卒業後は奈良の私立の文化財研究所に勤め、甲冑や武器・木製品などを扱った。

(学報委員 森脇沙彩)

クラブ・サークル前期活動報告

■文科系クラブ

ウインド・アンサンブル
新入生歓迎コンサート(四ノ一八学生ホール)、TCU横浜祭ジョイントコンサート(六ノ二東京都市大学航空自衛隊航空中央音楽隊アンコール演奏(六ノ一四文研))

(部長 鈴木柚佳里)
裏千家茶道部 留学生一四名にお点前披露・袱紗捌き体験(五ノ四、日本文主催の水無月茶会参加(六ノ二七五名来場、ソウル女子大の学生六名、先生一名にお点前披露・袱紗捌き体験(七ノ二))

(部長 原彩華)
演劇部 新入生歓迎フェスタ(四ノ一〇)で寸劇発表、学内教室公演(八ノ八)。

(部長 井上未智瑠)
BLOWあ(ESTAGAYA)三茶子育てファミリーフェスタ(六ノ三三)、FM世田谷のキャンパスレディオオカンパニーに参加。

(部長 田島千晴)

■文化系サークル

ボスターデザイン応募
(部長 杉山花結梨)
書道部 毎日書道展出品三名入選。部員は課題を決め練習。

(部長 竹下由唯)
文芸部 新入生歓迎用部誌「さくら」配布、九月部員の文章力の向上を目的に「強化訓練」実施。今年は各部員が書いた小説を口頭批評。

(部長 岩城佑希)
放送研究会 四月新入生歓迎フェスタ用作品製作、五月・七月作品製作、六月世田谷連盟モニター会参加、八月夏の番組発表会。

(部長 小曾根実紀)
マンドリンギタークラブ 青山学院大学、共立女子大学、実践女子大学とジョイントコンサート開催(四ノ二八タワーホール船堀大ホール)、全日本学生マンドリン連盟演奏会参加(八ノ六タワーホール船堀大ホール)。

(部長 桑原里沙)

■体育系サークル

紅茶研究会 紅茶専門店主催の春摘み茶葉紅茶試飲会に参加。九月にも国際貢献クラブ 留学生生交流会の企画も行って

(部長 小川沙穂)
加。第一四回東京六大学学生競技ダンス選手権大会(五ノ三)、第四一回東部日本学生競技ダンスラテン新人戦(一三位(五ノ一三)、第九〇回東部日本学生競技ダンス選手権大会(二三位(六ノ三三)、第一四回早月杯争奪学生競技ダンス選手権大会(一四位(六ノ一〇)、第三四回東部日本学生競技ダンスジュニア選手権大会(一一位(六ノ二四))

(部長 吉川晴香)
硬式テニス部 夏季合宿(八月初旬)、関東大学テニスリーグ(八月下旬)に参加。

(部長 池上雅明)
ソングリーディング部 Supplies デイズニーイベント参加オーディションビデオ撮影、オープンキャンパスで演技発表(六ノ三三、八ノ二五リオンホール)、デイズニーイクスピライイベント出演(八ノ五)、夏の強化合宿実施(九ノ一八二〇)、五ノ七月の各月一回プログラムチームに所属するコーチによる指導を受けた。

(部長 矢島 脛)
バドミントン部 関東学生バドミントン秋季リーグ(九ノ一五ノ三三)に参加予定。

(部長 三橋夏美)
バレーボール部 一〇月の秋リーグに向け日々練習中。

(部長 田鹿敦子)

■体育系サークル

アイススケートサークル
アイスクラブ(宮内佑希子)後期参加予定の大会に向けて、夏季休暇に練習試合を行う。前期は、一年生に教えることを中心に練習。

(部長 本田理香)
昭和女子大学クリケットクラブ 日経MJに記事掲載予定(八ノ三三)、関東学生選手権(九ノ一五)、対早稲田大学(九ノ一〇)、対中央大学(九ノ二二)、クリケット体験会(九ノ二三)昭島市民球場、Champion's Pitch(九ノ二三)全関東学生選手権決勝(九ノ二三)関東学生選手権二位入賞以上出場)

(部長 小林悦子)

■ボランテティア委員会からの報告

東日本大震災義援金募金について
ボランテティア委員会で七月六日(金)から十九日(木)までの期間、東日本大震災義援金募金を行った。この募金活動は、震災により今日でも日常生活に支障をきたしている方々がいる現状を踏まえ、少しでも支援をしたいという考えから行うことにしたものである。今回も、学生をはじめ、学内の皆様にご協力頂き、総額一九万二九七円を集めることができた。募金活動にご賛同いただいた皆様に深く感謝する。

(ボランテティア委員会)

■読書の秋

さわやかな秋は、何をすることも良い季節だが、私たちが勧めるのは「読書の秋」。読書で想像力を豊かにし、読解力や文章力を身につけよう。そこで図書館を活用し、本に親しむ方法を提案する。

読書の習慣があまりない人も、八〇年館三階にある図書館を積極的に利用してほしい。本学図書館には約四八万冊の本や約一万四千タイトルの雑誌のほか、新聞やAV資料もあり、読書はもろもろ、様々なニーズに対応できるようになっている。

図書館の入口で学生証をかざして入館すると、ソファや水槽がおかれたくつろげるスペースがある。雑誌を読んだりできるので、ゆっくりしたい時にもお勧め。

何を読むか迷ったら、学生手作りのポップを参考に本を探すのも楽しい。ポップを書く、「読書ラリー」に参加すると、一枚書くともらえるスタンプを集めて、図書館オリジナルグッズや図書カードに交換してもらえ。今年度から始まった図書館ブログにも、本の紹介があるので、要チェックだ。

図書館はほぼ毎日開館し、利用できる時間も長い。本も一〇冊まで借り

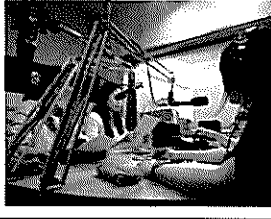
■ボランテティア委員会からの報告

ボランテティア委員会で七月六日(金)から十九日(木)までの期間、東日本大震災義援金募金を行った。この募金活動は、震災により今日でも日常生活に支障をきたしている方々がいる現状を踏まえ、少しでも支援をしたいという考えから行うことにしたものである。今回も、学生をはじめ、学内の皆様にご協力頂き、総額一九万二九七円を集めることができた。募金活動にご賛同いただいた皆様に深く感謝する。

(ボランテティア委員会)

■オオマケ情報

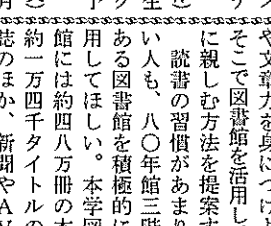
図書館にオオマケがあるのをご存知だろうか。カウンターで手続きすれば、閲覧席で利用できる。持ち歩いて今人気の本を検索し、探すことも可能だ。(学報委員 加藤寛子・鷹持桃子・森井貴子)



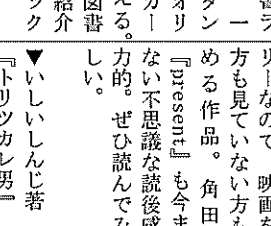
ジャパンアニメーション部 COMITIA100 (五ノ五東京ビッグサイト)参加、秋桜祭



紅茶研究会 紅茶専門店主催の春摘み茶葉紅茶試飲会に参加。九月にも国際貢献クラブ 留学生生交流会の企画も行って



アイススケートサークル アイスクラブ(宮内佑希子)後期参加予定の大会に向けて、夏季休暇に練習試合を行う。前期は、一年生に教えることを中心に練習。



ボランテティア委員会からの報告 東日本大震災義援金募金について



オオマケ情報 図書館にオオマケがあるのをご存知だろうか。カウンターで手続きすれば、閲覧席で利用できる。持ち歩いて今人気の本を検索し、探すことも可能だ。

ジャパンアニメーション部 COMITIA100 (五ノ五東京ビッグサイト)参加、秋桜祭

閉幕サークル 新歓フェスタなど新入生の勧誘活動、部室にて部員同士で対局。(部長 高田夏帆)
韓国文化サークル 韓国映画や韓国関連DVD鑑賞会、韓国語学習、韓国からの短期留学生との交流に参加。(部長 戸田成美)

合気道部 第一九回関東学生合気道新人競技大会演武競技の部 小口・坂本組二位、江島・鈴木組三位(五ノ三三)、第四回関東学生合気道競技大会乱取競技の部 女子団体戦優勝、演武競技の部 増田・浦野組三位(六ノ一七)。

(部長 浦野萌美)

読書の秋 図書館を活用しよう!!
さわやかな秋は、何をすることも良い季節だが、私たちが勧めるのは「読書の秋」。読書で想像力を豊かにし、読解力や文章力を身につけよう。そこで図書館を活用し、本に親しむ方法を提案する。

ボランテティア委員会からの報告 東日本大震災義援金募金について
ボランテティア委員会で七月六日(金)から十九日(木)までの期間、東日本大震災義援金募金を行った。この募金活動は、震災により今日でも日常生活に支障をきたしている方々がいる現状を踏まえ、少しでも支援をしたいという考えから行うことにしたものである。今回も、学生をはじめ、学内の皆様にご協力頂き、総額一九万二九七円を集めることができた。募金活動にご賛同いただいた皆様に深く感謝する。

オオマケ情報 図書館にオオマケがあるのをご存知だろうか。カウンターで手続きすれば、閲覧席で利用できる。持ち歩いて今人気の本を検索し、探すことも可能だ。

ボランテティア委員会からの報告 東日本大震災義援金募金について
ボランテティア委員会で七月六日(金)から十九日(木)までの期間、東日本大震災義援金募金を行った。この募金活動は、震災により今日でも日常生活に支障をきたしている方々がいる現状を踏まえ、少しでも支援をしたいという考えから行うことにしたものである。今回も、学生をはじめ、学内の皆様にご協力頂き、総額一九万二九七円を集めることができた。募金活動にご賛同いただいた皆様に深く感謝する。

オオマケ情報 図書館にオオマケがあるのをご存知だろうか。カウンターで手続きすれば、閲覧席で利用できる。持ち歩いて今人気の本を検索し、探すことも可能だ。

オオマケ情報 図書館にオオマケがあるのをご存知だろうか。カウンターで手続きすれば、閲覧席で利用できる。持ち歩いて今人気の本を検索し、探すことも可能だ。

第20回秋桜祭華 ~20th Anniversary

今年の秋桜祭のイベントが決定!!

トークショー(11/10 sat.)はDAIGOさん
コンサート(11/11 sun.)は清水翔太さん



★20回の節目となる今年の秋桜祭では、実行委員会をはじめ、参加団体が様々な企画を実施する。
どうぞお楽しみに。

←募集していたポスター・パンフレットは、応募19作品の中から松崎愛美さん(日文)の作品が選ばれた。

台北で開催された日本留学フェアに本学初参加



熱気あふれるフェア会場



本学のブース

去る七月二日(日)、これは、日本留学を希望する現地の高校生や大学生に日本の学校を紹介するためのイベントで、台湾だけでなくアジアを中心とした各地で毎年行われる。これは、日本留学を希望する現地の高校生や大学生に日本の学校を紹介するためのイベントで、台湾だけでなくアジアを中心とした各地で毎年行われる。

台北での開催とあって、日本からは大学八校、専門学校・日本語学校一八校が参加し、三〇〇〇人を超える来場者が集まるなど非常に盛況だった。本学のブースを訪れた留学希望者の熱心な態度に、日本への留学に対する関心の高さを感じた。国際交流センターでは日本に関心を持つ優秀な留学生を積極的に募集するために、これからも様々な地域で活動していく計画である。

(国際交流センター)

現代教養学科の学生が「せたがや芸術散歩」を企画



「小ざい秋を」の取材風景

世田谷区とせたがや文化財団が主催するアートイベント「芸術散歩」が開催される。美術館・劇場・文学館などの専用ホールを飛び出し、区内のまちかどや商店街、公園などを利用した様々なイベントに参加しようというものである。区制八〇周年を迎える世田谷区の特別企画として、



大宅壮一文庫で担当者の方と打合せ

現代教養学科の二つのゼミが世田谷区と文化財団との協働で「芸術散歩」の三コースを企画した。鶴田佳子研究室は「小ざい秋をみつめて楽しむ旅」(散歩ワークショップ)、福田淳子研究室は「映像の進化を見る! 過去から未来へ」と「文学者が築いた社会」との絆を探る「アップログ」と「デジタル」の魅力。実際にまちあるきをしながら話し合いを重ね、練り上げたものである。普段は体験できない、この企画ならではの魅力的な内容をふんだんに盛り込んでいる。ぜひ皆さんもこの機会に世田谷で様々なアート体験をしてはどうだろうか。

(現代 准教授 福田淳子)

生活心理研究所 平成二十四年度公開講座 高齢期のこころを支える

- 第一回 一〇月二〇日(土) 認知症患者さんの心 東京都立松沢病院院長 斎藤正彦 先生
- 第二回 一〇月二七日(土) 「高齢者のこころの理解とケア」 一佳日々のために! 慶成会老年学研究所 研究員 坪山芳栄 先生
- 第三回 十一月七日(土) 六〇歳からの上手な生き方・若い方 ノンフィクション作家、ZOO法人S&Sネットワーカ代表 松原惇子 先生
- ◎会場 八〇年館六階オーロラホール
- ◎時間 各回二時~四時(受付開始一時三〇分)
- ◎対象者 学生・一般(無料)
- ◎定員 各回 一〇〇名(事前申し込み順)
- ◎後援 世田谷区教育委員会
- ◎詳細・申込方法は <http://content.swu.ac.jp/shinr/ken-blog/>

クワケットクラブ部長小林さん 全日本選手として強化大会に参加

七月三日~七日、クリケット女子日本代表として、シンガポールで開催された「2012 Women's Cricket T20 Challenge」(シンガポールクリケット協会主催)に出場した。日本、シンガポール、香港、タイ、Crick Without Borders(オーストラリア・ウイクトリア州)が参加したこの大会は、EAP(East Asia Pacific)地域の日本にとって、日頃顔



代表のユニフォーム姿の小林さん

日本ではマイナーな競技であるクワケット。注目される活躍をして、一人でも多くの人にクワケットの楽しさを届けたらと思う。来年のワールドカップ最終予選開催に向け、今まで以上に一生懸命練習に取り組みたい。

(現代 小林悦子)

行事予定

- 10月 1日(月) 後期授業開始、図書館ツアー(〜10/5)
- 10月 3日(水) 第2回就職ガイダンス (15:30〜)
- 10月 5日(金) 先哲の慰霊祭(10:40〜)、図書館長期貸出最終返却日
- 10月 6日(土) 第5回オープンキャンパス (13:00〜16:00)
- 10月 7日(日) 大学編入学・転入学・学生入学試験(一般)
- 10月 9日(火) 【文研】Disney on CLASSIC 修士論文題目提出日 図書館「情報検索ガイダンス(〜11/30)」「ゼミガイダンス(〜12/7)」
- 10月10日(水) 【女教】井上史佳氏「女性の歌話」、第3回学生会クラス学生総会(15:30) 第8回メンターフェア (11:30〜)
- 10月14日(日) 大学AO入学試験 緑声舎「防災訓練(9:30〜)・セミナー(14:00〜)」
- 10月15日(月) 図書館学生選書ツアー
- 10月16日(火) 【文研】古典芸能・落語鑑賞会
- 10月17日(水) 避難訓練(12:00) 【女教】石井直方氏「女性にとっての筋肉・美容・健康そして充実した人生のための筋肉の作り方」 短大保護者懇談会(13:00)、第15回メンターカフェ (13:30〜)
- 10月22日(月) 学内合同企業説明会 (12:30〜平成25年3月卒業生対象)
- 10月23日(火) 【文研】花村清志・總務課 デュオ・リサイタル、第9回メンターフェア (11:30〜)
- 10月24日(水) 短大進路ガイダンス (10:40〜)
- 10月27日(土) 私費留学生10月期一般・編入学試験
- 10月31日(水) 【女教】和田秀樹氏「学力をつける心理学」 博士後期課程3月修了見込み者課程博士学位論文提出締切(16:00まで)